

厚生労働科学研究費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
分担研究報告書

兵庫県における肝炎医療コーディネーターの配置と配布媒体やデジタルコンテンツ等の活用による活動推進の効果検証

研究分担者 飯島尋子 兵庫医科大学 消化器内科学 教授

研究要旨

【背景】兵庫県は東西南北に広く人口 540 万人であり、兵庫県の肝疾患診療に関わる二次医療圏の各医療機関とのネットワークを構築し中核施設を中心に県下全域の医療機関や職域を含めた県民への啓発活動を目的に活動を開始している。二次医療圏は 10 圏域あり、それぞれ肝炎医療コーディネーター（肝 Co）を配置し活動支援を行い、「兵庫モデル」の確立を目指している。Covid-19 の感染蔓延により県民のみならず医療従事者への対面での啓発活動が制限されており、紙面や Web での啓発資材の活用と推進が急務となっている。

【方法】①兵庫モデルとして、自治体、拠点病院、専門・協力医療機関、医師会、患者会、Hyogo Co Co Meeting（肝 Co の連絡会）の連携。②コロナ禍における情報発信のためのデジタルコンテンツの開発と、紙面の配布。

【結果】①自治体は肝 Co 養成研修会やスキルアップ研修会の開催を拠点病院へ依頼、拠点病院はそれを受けて研修会を主催し、研修会終了後に肝 Co の啓発活動を支援する資材を郵送した。Hyogo Co Co Meeting は、患者会も含め 2-3 ヶ月毎に Web ミーティングを行い、各肝 Co の活動での課題を抽出、課題解決のための方法論やサポートについて拠点病院と連携しながら進めている。さらに医療の均てん化を目的に拠点病院が中心となり肝臓専門医不在の二次医療圏の連携医療機関と医師会への肝疾患診療連携並びに肝炎医療コーディネーター活動推進についての説明を行った。②コロナ禍における情報発信および啓発活動の一環としてデジタルコンテンツを作成し、肝炎対策のステップ「予防」「受検」「受診」の啓発を行った。肝炎治療後の生活習慣を見直し、さらにメタボリック症候群なども背景にあり、脂肪肝をテーマとし、肝疾患の検査に対する不安を無くし、受診や受検の啓発、そして脂肪肝を予防するための食生活や運動についての理解を深めるような内容とした。この動画は、兵庫医科大学病院肝疾患センターのホームページに掲載する予定である。またメディアに保存し、兵庫県内の医療機関や肝 Co へ郵送し、活用してもらう予定である。高齢者に対しては紙面の活用も重要であることが解り、今後肝臓新聞も引き続き活用していく。

A. 研究目的

兵庫モデルの確立のため、二次医療圏における肝疾患診療の均てん化と肝 Co の活躍促進。

B. 研究方法

二次医療圏における医療の均てん化の目的で拠点病院、専門医療機関、自治体、医師会等と連携し中核病院の設置を行う。肝 Co の活躍推進のため配置状況の把握、職種毎の人数と専門医療機関の位置情報を加え、今

E. 結論

二次医療圏における肝疾患診療の均てん化と肝 Co の活躍促進における状況把握がで
き兵庫モデルの確立の基礎を作った。

F. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

なし

G. 知的所有権の取得状況

なし

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他